

クラス401:セッション3

「自分の“宣教池”で人を獲得する(上)」

マタイ 4:19

2018.2.25 HKJCF

1

クラス401の概要

クラス401は神様からいただいた人生の目標・使命を発見し、自分の人生に対する神のご計画を全うすることです。

各セッションのテーマ

1. 私の人生の使命を発見する
2. ライフ・メッセージを分かち合う
3. 私の「宣教池」で人を獲得する
4. 世界宣教の働きに参加する

2

概観

イエス様に従うことと、伝道することは一体である。伝道を考える時、“狩り”や“営業”ではなく、“釣り”や“結婚の仲介”のようなものである。

アウトライン

1. 個人的な宣教池を明確にする
2. 宣教池にいる人の種類について学ぶ
3. 霊的成長スケールについて

3

“狩り”と“魚釣り”の違い

狩り	魚釣り
攻撃的、対決的	穏やかで、引きつける
撃ち落とす	餌を使う
同じ銃弾で、すべてを仕留める	様々な種類のルアーを使う
一発勝負	押したり、引いたりする
狙いを外したら、逃げられてしまう	何度でも、チャンスがある
獲物である動物には、選択の余地がない	餌に食いつくかどうかは、魚の選択次第
仕留めるには、高い技術が必要	だれでも釣り糸を垂らすことができる

4

1. 個人的な宣教池を明確にする

1) 証人になる: 自分の経験に基づいて証言し、弁護、論争、説得ではない。

2) 新約聖書におけるパターン: (使徒 1:8)

- ① エルサレム: 家族、親戚、友人、同僚。
- ② ユダヤ: 近所、地域に住む人たち。
- ③ サマリヤ: 近くにいる異文化の人たち。
- ④ 地の果て: 国境を超える世界の人々。

ベクトル: 内から外へ!

5

聖書の例

① エルサレム(家族): レギオン(マルコ 5:19); アンデレ(ヨハネ 1:40-42)。

① エルサレム(友人): ペリポ(ヨハネ 1:43-46); サマリヤの女(ヨハネ 4:39-42)。

① エルサレム(職場の同僚): マタイ(マタイ 9:9-10); パウロ(使徒 18:1-4)。

① エルサレム(通りすがりの人): イエス様(ヨハネ 4:7); ペリポ(使徒 8:29-30)。

行動: 分野別に祈禱リストを作って祈る

⇒ 普段から気にかけている未信者の人。

6

2. 宣教池にいる人の種類について学ぶ

1) 相手のことを理解する:(I コリント 9:20-23)

- ①必要
- ②興味
- ③心の傷

私たちの注意を引くもの:

①価値を認めているもの

②脅かすもの

③特異なもの

⇒伝道は①で。

7

2. 宣教池にいる人の種類について学ぶ

2) 相手との共通点を考える:(マルコ 4:33)

福音を分かち合う前に、

- ①共通の話題や背景を見つける必要がある
- ②人間関係を築く必要がある

共通点:

①共通の経験

②共通の趣味

③共通の好み(番組、映画、食物、音楽など)

④共通の悩み(仕事、家族、人間関係など)

8

2. 宣教池にいる人の種類について学ぶ

3) 興味を示すタイミングは様々:(コロサイ 4:5)

福音に対してどのくらい心を開いているか、霊的受容度を理解する必要がある。伝道はプロセスであり、異なるアプローチが必要。

“種蒔きのたとえ”:(マタイ 13:1-23)

①道端:頑なな心

②土の薄い岩地:衝動的な心

③いばら:散漫な心

④良い地:受容的な心

9

3. 霊的成長スケールについて

-6: 抵抗期:自分の現状に満足、懐疑的、抵抗的、霊的なことに無関心、福音に全く無興味。

-5: 受容期:満たされていない必要や心の虚しさに気づいている。人生の危機、人生が崩壊状態にある。

-4: 求道期:人生の疑問に対する答えや、問題に対する解決を求め始めている。霊的な真理を探し始めている。

-3: 考慮期:自分自身とクリスチャンたちとの違いについて考えている。

10

3. 霊的成長スケールについて

-2: 理解期:なぜ、そしてどうすればクリスチャンになれるのかを学び始めている。

-1: 準備期:キリストを信じ受け入れる心の準備が整っている;収穫の実が熟している。

0: グラウンド・ゼロ:キリストにある新しい命。ここからクリスチャンとしての成長が始まる。

+1: メンバーシップ:洗礼を受けて神の家族である教会につながる(クラス101)。

11

3. 霊的成長スケールについて

+2: 霊的成長:霊的成長に必要な習慣を身につける(デボーション、祈り、献金)(クラス201)。

+3: ミニストリー:神様から与えられた賜物を用いて他人に仕えていく(クラス301)。

+4: 宣教の使命:証人になる意識を持っており;福音を未信者に分かち合っていく。

+5: 礼拝:これらの取り組みのバランスを取りながら、神の栄光のために自分の人生の目的を全うするステージ;人生そのものが礼拝。

12